

「安倍政権100日」緊急アンケート結果一次速報

認定NPO法人 言論NPO

安倍政権が誕生して100日が経とうとしています。この時点で私たちは、各界の人々が安倍政権をどう評価しているか、緊急にアンケート調査を実施しました。

どの政権でも100日程度はご祝儀相場で政権を見守る段階といえますが、100日が経てば有権者の厳しい監視にさらされることになる、今回の調査は、そういう緊張感ある関係を政治と有権者の間に作り上げるための試みでもあります。

このアンケート調査の一つの特徴は、共通の設問について、日本の各界ごとに母集団をとり、それぞれの方々がどのような見方をこの政権に対してしているかが浮き彫りになるような形で実施したことです。

私たちのこうした試みに、新聞社や放送局で働く現場の記者さんや、霞ヶ関の現役の官僚、あるいは大学生が協力し、言論NPOの活動に参加していただいている各界の有識者も加えて350人が回答し、さらに発言をしていただきました。こうしたメディア、官界、学生、有識者を対象としたのは、現在や将来の日本の政策マーケットの構成員といえる層の認識動向を探るためです。

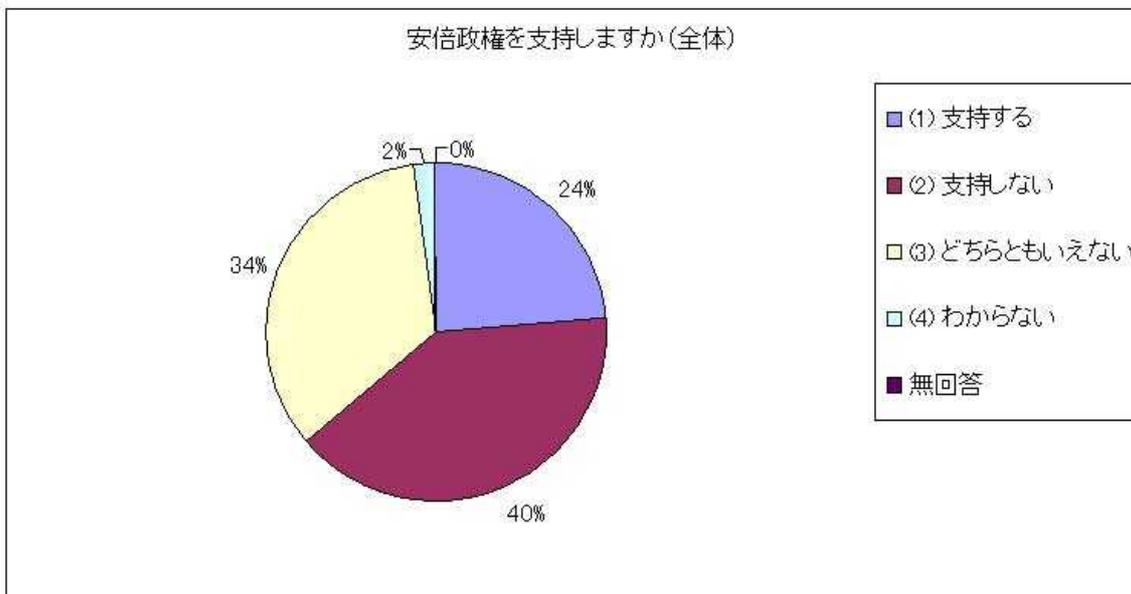
この350人の調査結果の詳細と発言内容は2007年1月4日から順次、公開し、言論NPOが行っている政策論議に反映させたいと考えております。

アンケートは首相の適格性や各分野で取り組んだ政策の評価も含めて12の設問で構成されていますが、今回は、その中から、一次速報として4つの設問の結果について公表します。

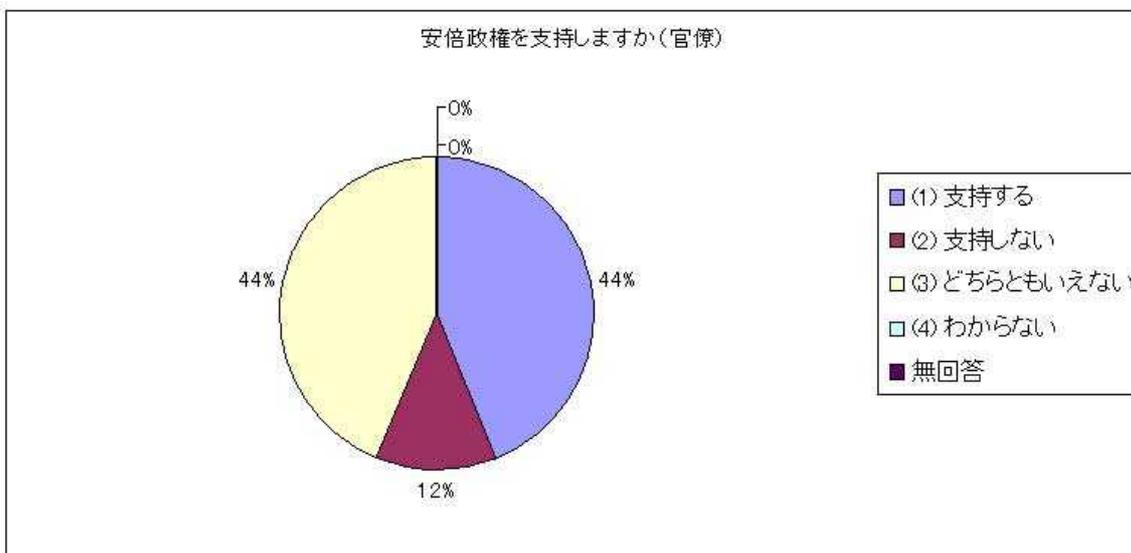
なお、今回、アンケートに答えていただいたのは、全国紙、地方紙、放送局の記者や編集幹部の100人と、中央官庁の現役の職員の50人、さらに東京大学、慶應義塾大学、東京医科歯科大学などの大学生100人、さらに言論NPOの活動に参加している企業経営者、企業幹部、学者などの有識者100人の計350人です。

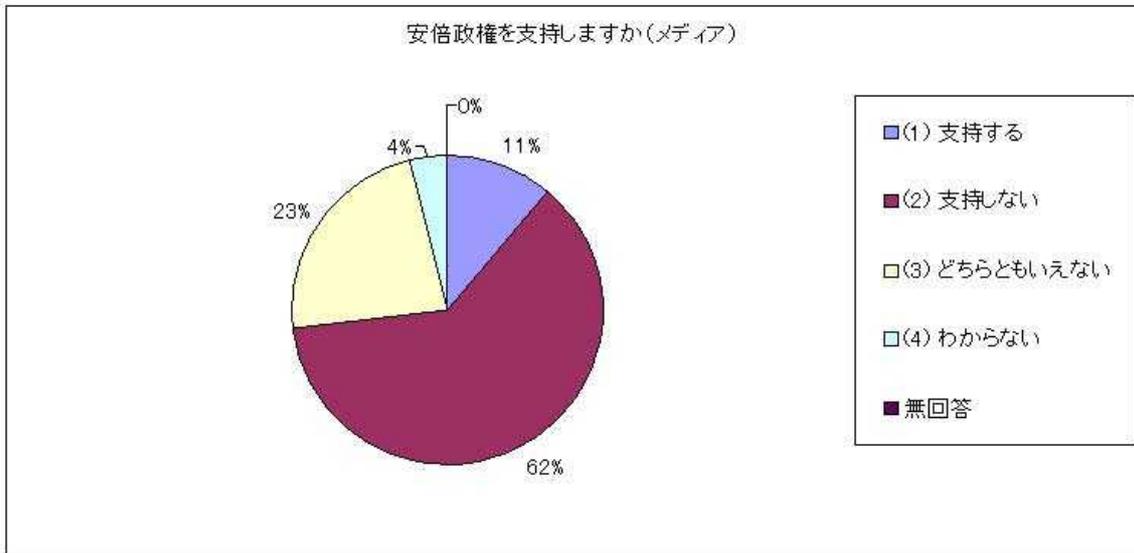
1. 100日を経た時点での安倍政権支持者は回答者の24%、官僚は44%支持だが、メディア関係者は11%に過ぎない。

今回の回答者350人のうち、100日を経た時点で安倍政権を支持すると回答するのは24%しかありませんでした。しかし、34.3%は「分らない」と答えており、不支持と回答したのは39.7%でした。

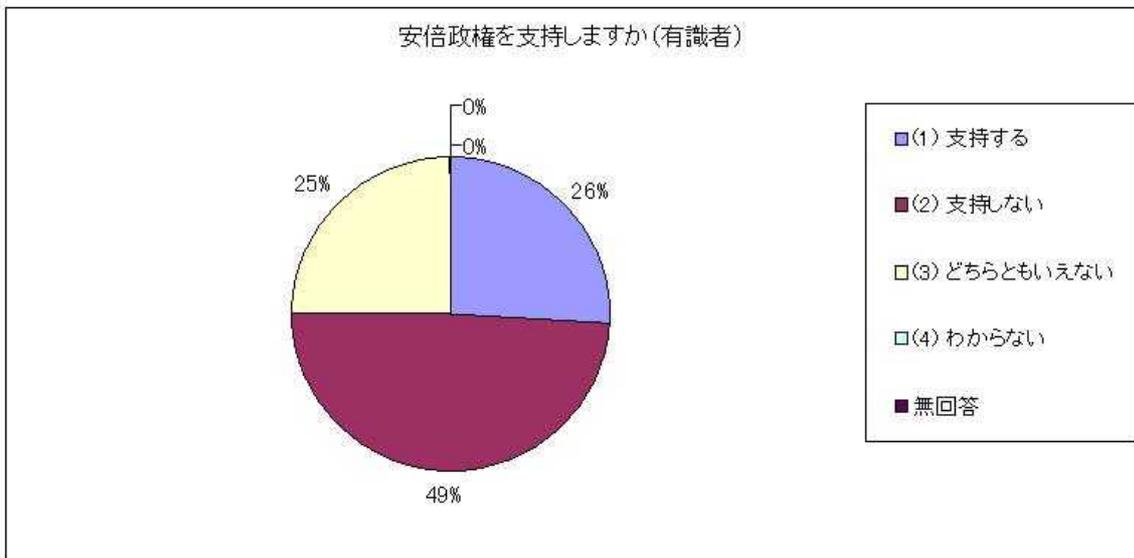


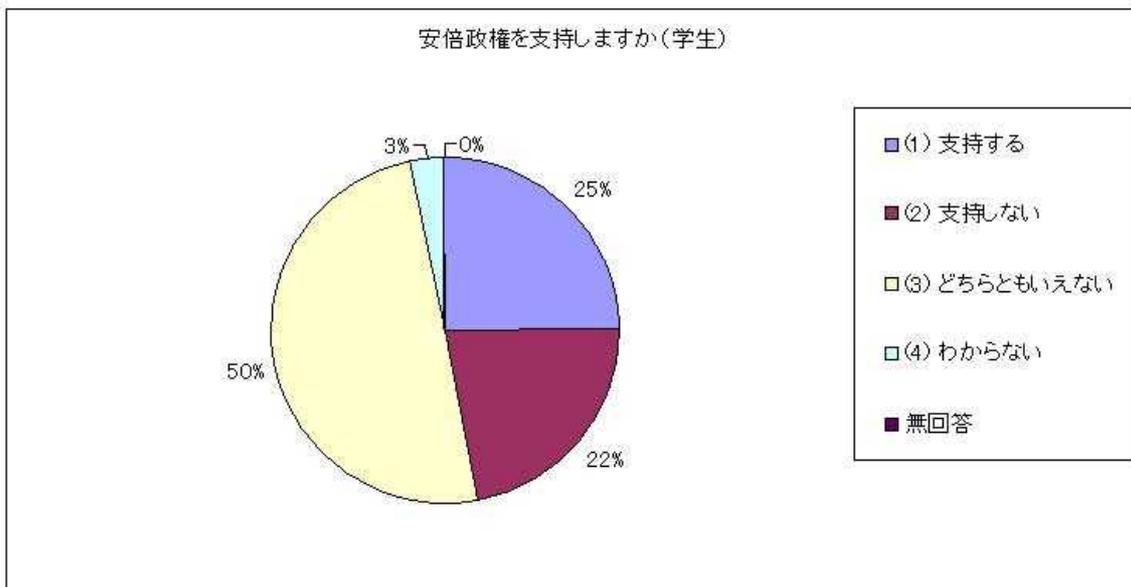
各分野別では、支持率が最も高かったのが官僚で、44%が支持しており、不支持は12%に過ぎませんでした。これに対し、支持率が最も低いのはメディア関係者の11%で、支持しないとの回答は6割を超えており、メディアは安倍政権に対して厳しい見方をしています。





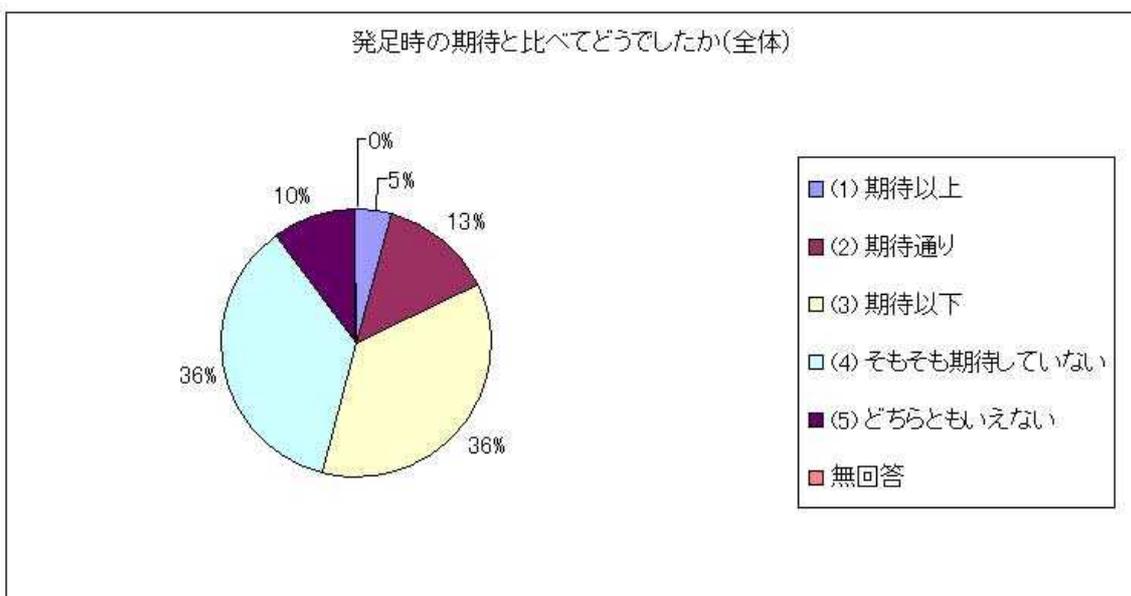
有識者と学生はともに支持率が3割弱ですが、有識者の方々も支持しない人々が半数近くになっており、厳しい評価となっています。



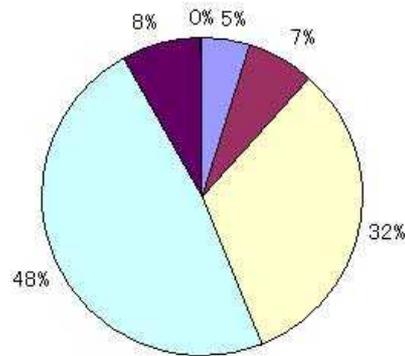


2. 現状の安倍政権は、政権誕生時の期待にあまり答えていない。

全体として期待以上の高い成績をつけた人々は5%程度にとどまり、期待通りと併せても、合格点に達していると評価している人々は2割に過ぎませんでした。36%は「期待以下」と答えており、「そもそも期待していない」との見方も同率ありました。これもまた厳しいのはメディア関係者ですが、官僚も期待通りは3割程度で、半数近くが「期待以下」と答えています。

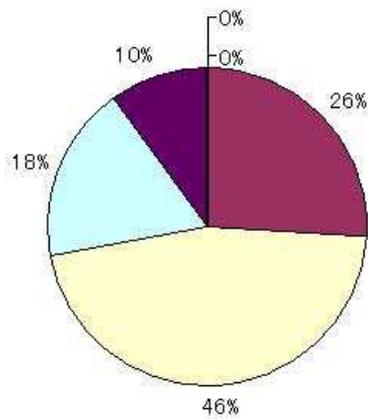


発足時の期待と比べてどうでしたか(メディア)

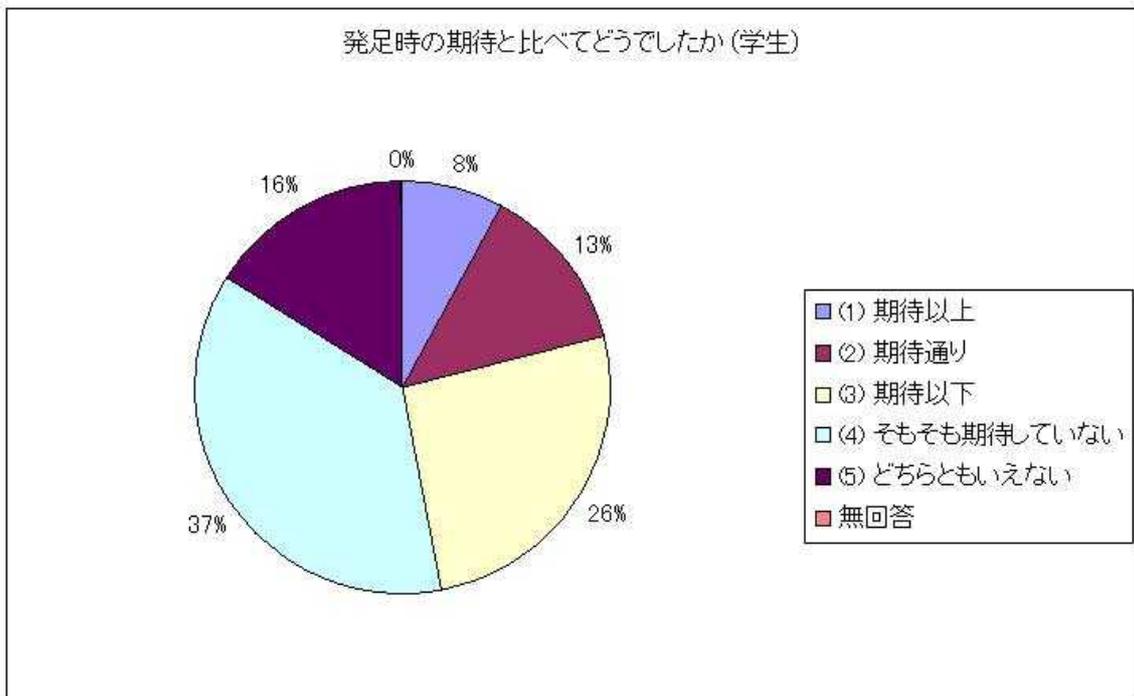
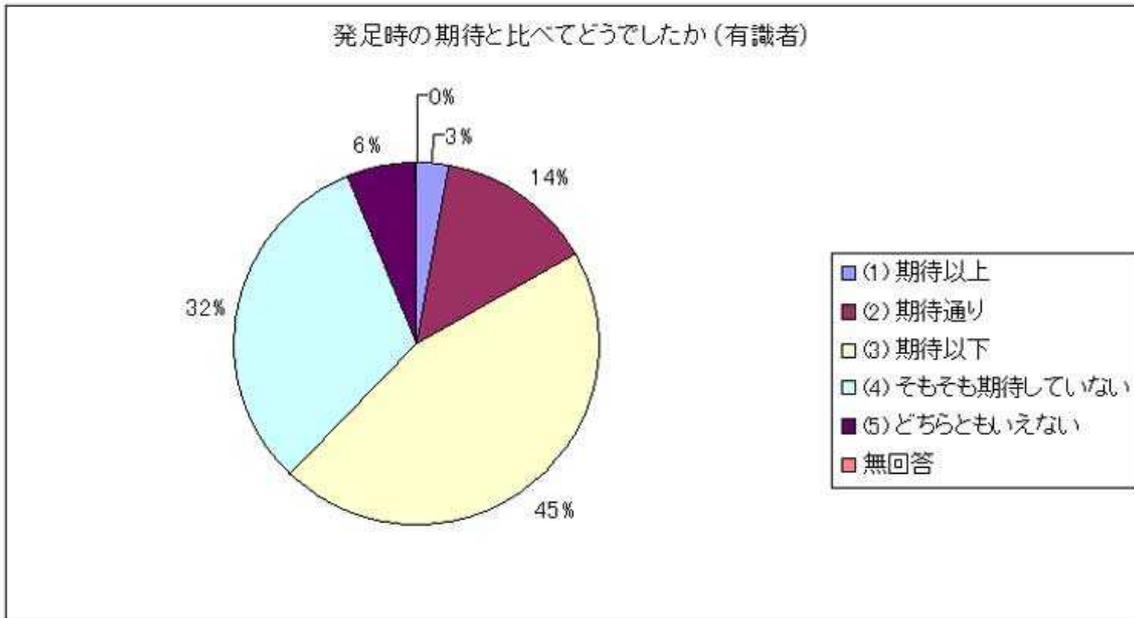


- (1) 期待以上
- (2) 期待通り
- (3) 期待以下
- (4) そもそも期待していない
- (5) どちらともいえない
- 無回答

発足時の期待と比べてどうでしたか(官僚)



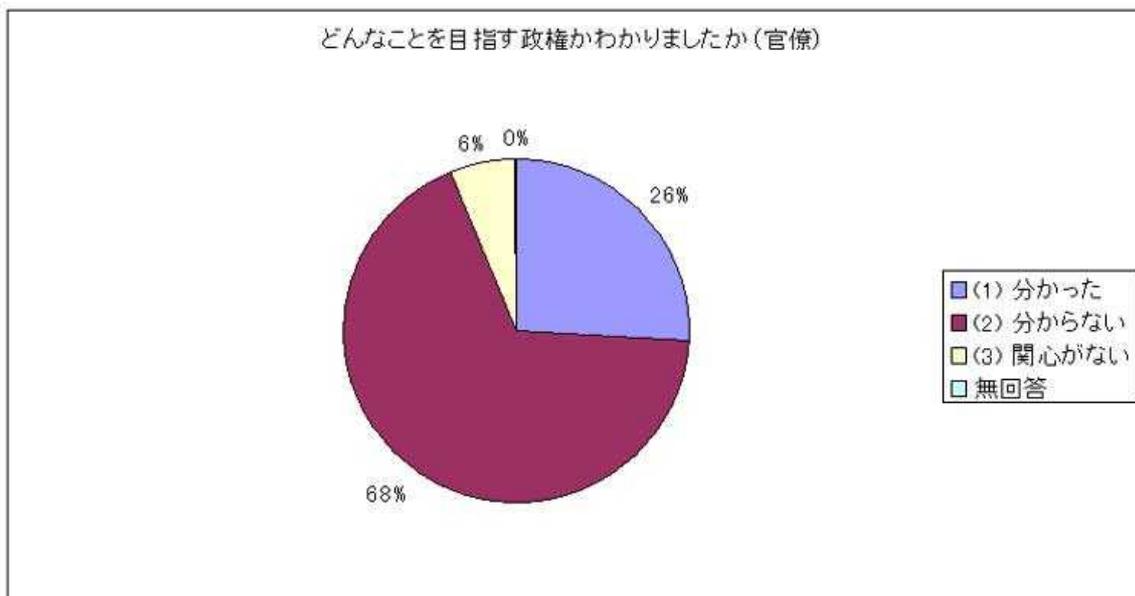
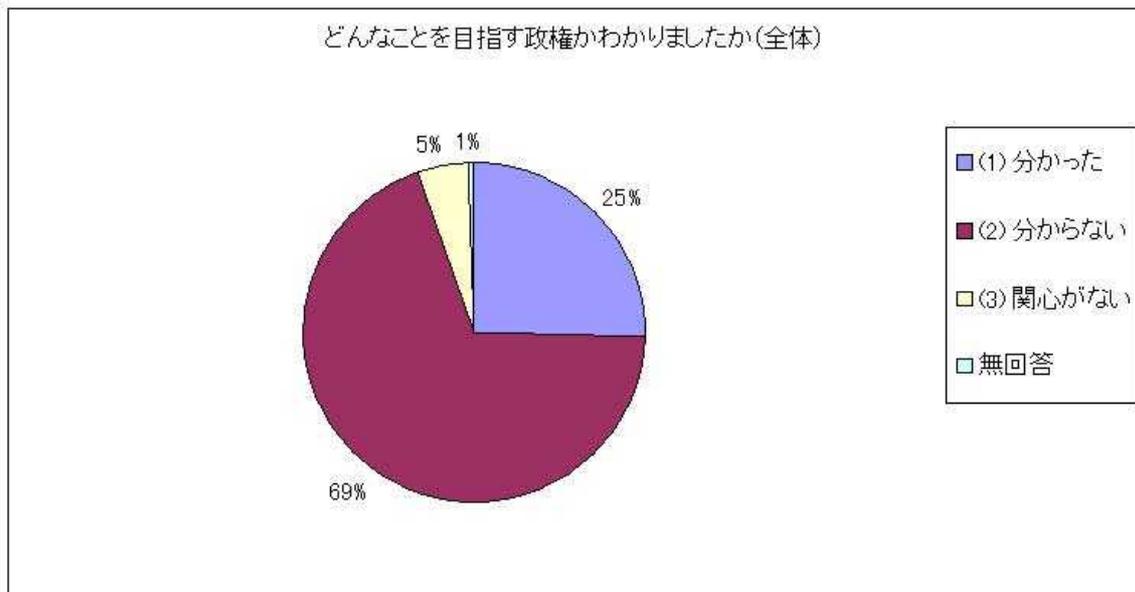
- (1) 期待以上
- (2) 期待通り
- (3) 期待以下
- (4) そもそも期待していない
- (5) どちらともいえない
- 無回答



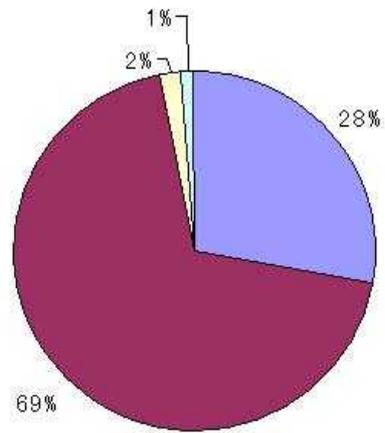
3.7 割近い層が、安倍政権は何を目指そうとしているのか、現段階ではまだ分らないと回答している。

次に安倍政権はどんなことを目指す政権か、分りましたかとの設問に、分ったと回答したのは

4人に一人で、分らないとする層は7割近くいます。この比率は官僚、メディア関係者、学生、有識者も同じ比率となっています。政権の性格が依然としてまだ見えてきていないとの評価になっています。

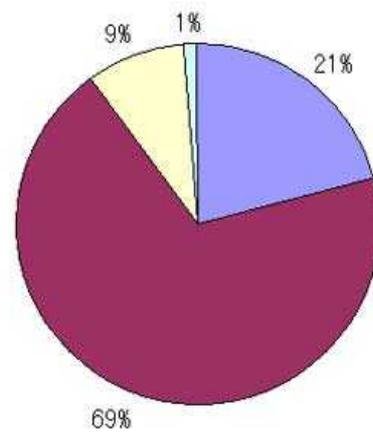


どんなことを目指す政権かわかりましたか(メディア)

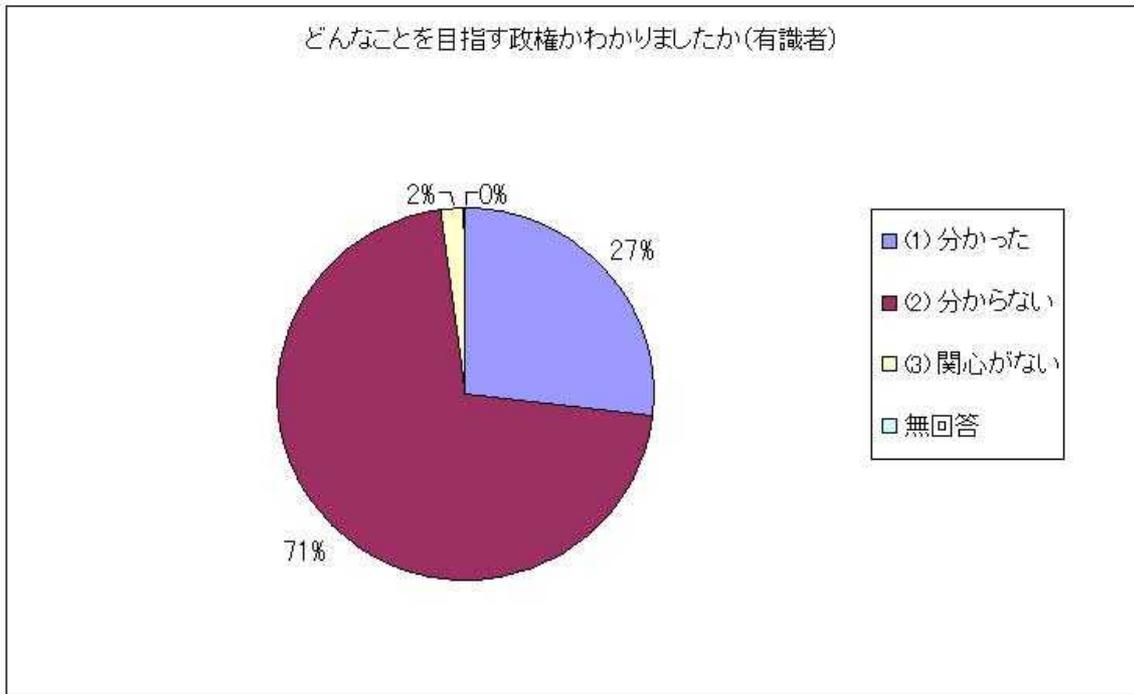


- (1) 分かった
- (2) 分からない
- (3) 関心がない
- 無回答

どんなことを目指す政権かわかりましたか(学生)

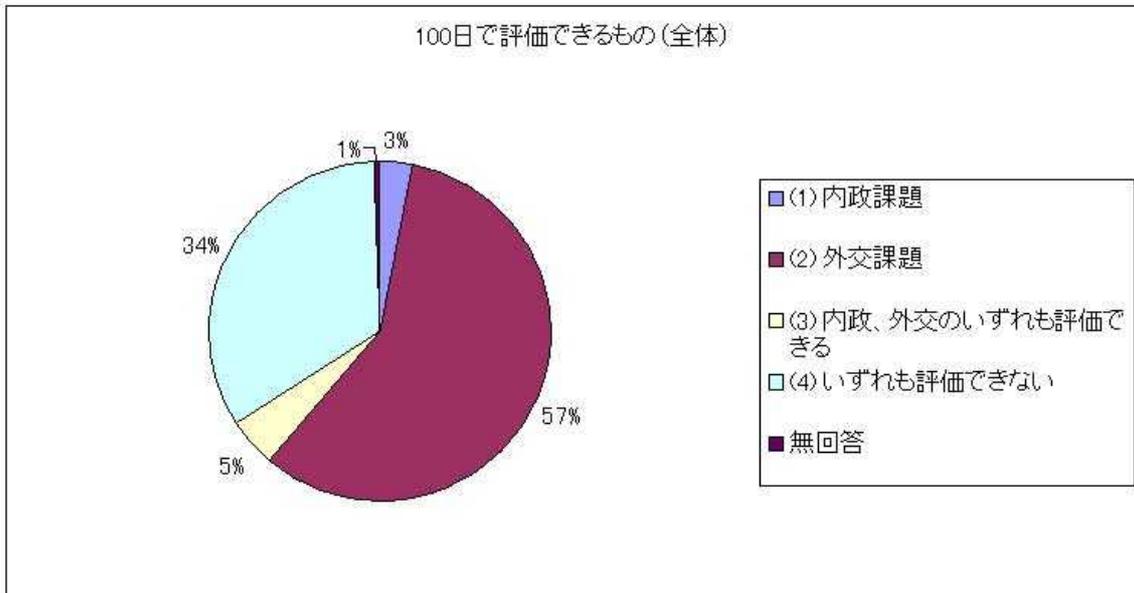


- (1) 分かった
- (2) 分からない
- (3) 関心がない
- 無回答



4 . 安倍政権の 100 日で評価できるのは外交で、内政課題をあげたのは極めて少ない。

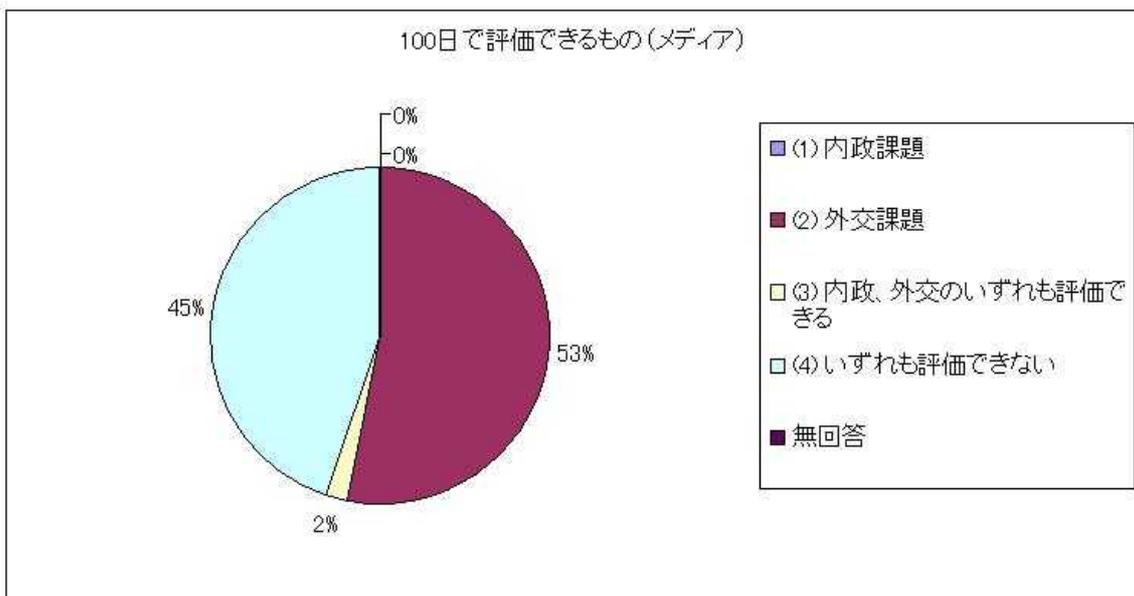
全体として、100日経った時点では、外交課題は評価できるが、内政課題は評価できないとの結果になりました。内政課題が評価できるとした人は5%にもなりません。約6割の回答者が外交課題への安倍政権の対応は評価できるとしています。内政、外交のいずれも評価できるとした人はわずかで、いずれも評価できないとした人は3割にのぼりました。



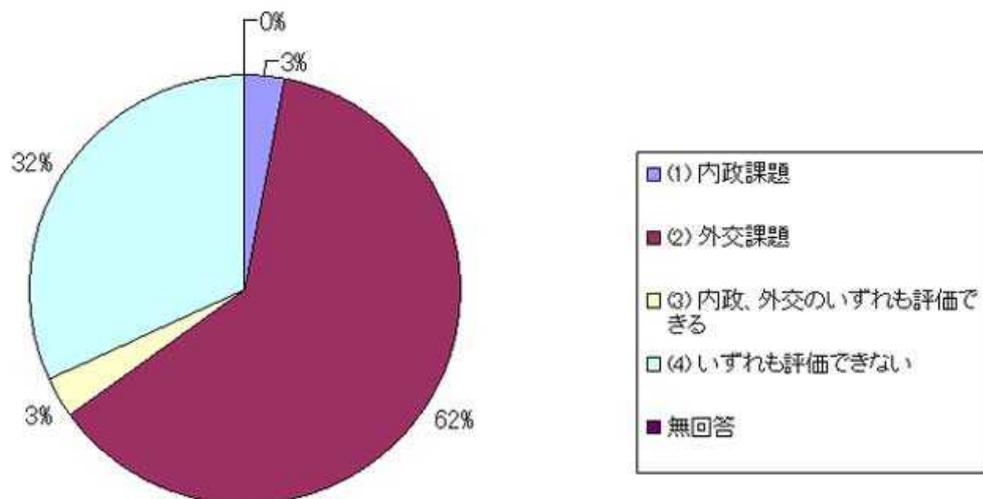
各界別では、安倍政権の内政課題への対応を評価する人々は、メディアと有識者ではほとんどいませんでした。これに対し、官僚や大学生は1割が内政も評価できるとしています。

外交課題への対応を最も高く評価しているのは官僚で約7割にのぼっています。官僚は、いずれも評価できないとしている人が13%と最も少なく、課題への対応という点では政権の近くにいる官僚たちの評価は高いものとなっています。

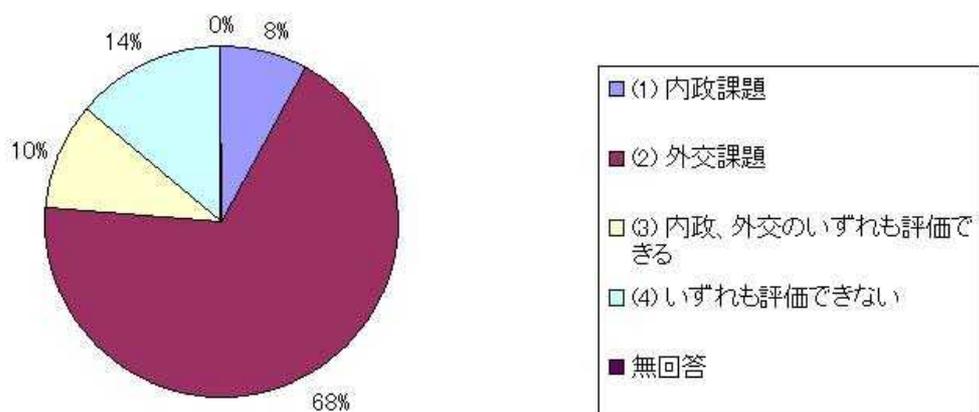
有識者、メディア、学生とも、外交を評価する人が最も多くなっていますが、メディアでは、内政、外交いずれも評価できないという人が4割にのぼっていることが、官僚の見方とは対称的でした。



100日で評価できるもの(有識者)



100日で評価できるもの(官僚)



100日で評価できるもの(学生)

